

研修名	令和3年度 新任者のための精神保健福祉基礎研修 I
講師	保健福祉局精神保健福祉課、北九州市立精神保健福祉センター 小倉記念病院 緩和ケア・精神科部長 三木 浩司 氏
開催日時	令和3年8月31日（火）10：00 ～ 16：30
開催方法	オンライン研修（Webex Meetings 使用）
申込者数	58名（内訳：行政機関、医療機関、障害者支援機関等の職員）
内容等	精神保健福祉業務に関わる行政機関及び関係機関の新任者を対象に、精神障害者についての見識を深め、関係機関との連携や現場での適切な業務が出来る事を目的として開催した。①本市の精神保健福祉施策の概要 ②精神保健福祉センターの概要 ③自殺予防ゲートキーパー研修 ④精神疾患について（症状と治療など）をテーマに研修を行った。 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、初のオンライン開催となった。
参加者の声	<ul style="list-style-type: none"> •精神保健福祉施策の成り立ちまで学ぶことができました。特に北九州市の現状について、数字を示して説明をしていただいたことで、実態がよく理解できました。 •精神保健福祉センターの業務概要を知ることで、北九州市の行政・相談機関の体制について具体的にイメージすることができた。 •自殺のプロセスや精神疾患との関係などを知ることができてよかった。また、TALKの原則を詳しく学び、対応の仕方などについても考えることができた。 •資料に沿って、資料以外の先生の経験上のお話を伺うことができ、精神疾患への理解が深まりました。パーソナリティ障害と発達障害の区分けがよくわからなかったのですが、今日の研修で自分なりに整理がついたのでスッキリしました。 •先生のお話がとても面白く、精神疾患を抱える方に対してどのように接すれば良いのかなど聞きたいことが沢山聞けました。 •各精神疾患の特徴や治療方針について学ぶことができたため。また、具体的なエピソードも交えて、精神疾患の方への声掛けの仕方についても学ぶことができた。 •精神疾患の方の就労支援をしている中で、対応に苦慮する場面があるため、今回の研修は大変参考になりました。